

つるの里づくりを考える ワークショップ

平成20年3月8日
於：四万十市防災センター

ツルたちが北へ帰り支度を始める3月、山口県周南市八代地区でのツル保護活動の実践事例を学ぶワークショップを開催しました。農業振興とツル保護活動の両立が図られている八代の活動には学ぶべきところがたくさんあります。地域から集まった約40名の参加者は真剣に耳を傾けていました。ここでは、八代からお越し下さったお二人の報告のエッセンスをご紹介します！



“農業振興なくして ツルの保護はできませんよ”

八代のツルを愛する会 会長 徳本 仁氏

八代では、「農業振興なくしてツルの保護はできない」という考えのもと、地域の各種団体が参加して「八代地区自然再生協議会」を立ち上げました。

八代はナベヅルの越冬地として有名ですが、昭和15年のピーク時の約350羽以降、越冬数は次第に減少し、平成19年度は7羽にまで落ち込みました。そこで、私たちは今まで行ってきた保護活動を、よりきめ細やかに実施することにしました。

例えば、次の5つの取り組みを進めています。

- ① デコイ（ツルを呼び寄せるための等身大模型）の設置箇所を増やしています。
- ② ほ場整備を行ったために湿地が減ったので、冬期湛水農法を実施してえさ場となる湿地を増やしています。
- ③ 警戒心の強いツルのために八代盆地全体に鳥獣防護柵を張ったり、湿田を増やしています。また、八代ではツルのいる時期の公共工事は禁止されており、業者も積極的に協力しています。
- ④ ツルのえさは、もみや米・麦が一般的ですが、新たなえさ資源も増やそうとしています。ドジョウやバッタ、コオロギなどのほか、ブロッコリーなどの野菜も食べようです。
- ⑤ 保護ツルの移送事業※をよりいっそう推進しようとしています。

特に、冬期湛水農法の導入には紆余曲折がありましたが、「ツルは水鳥で湿地を好むはずで、冬の間、田に水を張ることにより、誘引の効果があるのではないかと。冬期湛水は完全無農薬の農法であり、安心・安全の米作りはツルの生息環境をよくすることにもつながる」といった考えのもと、とにかくやってみました。実際、ツルは冬期湛水田の周辺によく降りて、水浴びや畦つつきをしており、ある程度の誘引効果があったと考えています。



たくさんのデコイ（手前の3羽は本物のツル、奥がデコイです）

※鹿児島県出水市で保護したナベヅルを人為的に約440km離れた八代盆地に移送し、飼育しながらケガなどを回復させた後、放鳥しています。北帰行を経て、秋に八代盆地に戻ってくれば、八代の飛来・越冬数の減少に歯止めがかかるものと期待されています。



八代盆地を取り囲みツルを守っている鳥獣防護柵



冬期湛水田で遊ぶツルたち

“農地はツルの遊び場、私たちの生産の場。 その農地を守りたい”

農事組合法人 ファームつるの里 代表理事 久行 基式氏

農業は今、厳しい状態に置かれています。そこで、「農事組合法人 ファームつるの里」は、地域の特色を活かして高付加価値のものを作ってこうと、平成18年2月に発足しました。農地はツルが遊ぶところであり、農家にとっては生産の場。そ

の農地を十分に活用するため、兵庫県豊岡市の「コウノトリをはぐくむ農法」（冬期湛水農法）を学び、平成19年産米から実践を始めました。

冬期湛水農法のポイントは3つあります。

- ① 冬の間も田に水を張るため、水が自由に使える場所が必要です。
- ② 苗を作るために育苗箱に種を撒くのですが、丈夫な苗を作るため、既存の農法よりも少ない量で種を撒くことが重要です（育苗箱1箱あたり60g程度）。
- ③ 深く水を張って育てているので雑草はあまり生えてきませんが、コナギという雑草は一面に生えてきます。コナギは米ぬかで除草しますが、その発芽期を狙って米ぬかを撒くことが重要です。



冬期湛水農法実証田

できた米は、ゆうパックで「つるの里米」として販売しました。全国から注文があり、3月初めには完売しました。

既存の農法と違うことばかりで試行錯誤の連続でしたが、今年度の経験を活かして平成20年度も継続して取り組んでいきたいと思います。

ワークショップを終えて～事務局所感～

ワークショップでは、事務局から当会の活動内容を報告しました。また、澤田佳長氏（野生生物環境研究センター 所長）から四万十川流域でのツルの調査結果をご紹介いただきました。意見交換では、江ノ村地区の休耕田の活用方法について研究する大学生の発言などもあり、若い人の意見に心強く感じました。また、徳本氏の「地域の特色を活かした保護活動が重要だ」という発言が印象的で、できるだけ早く“四万十方式”のツル保護活動を確立させ、ツルが越冬する姿を見たいと思いました。



▲澤田佳長氏のツルの調査報告



◀若い方の意見は頼もしいものです！（意見交換）